

【様式2】

学校関係者評価書

佐賀県立ろう学校

1 学校関係者評価実施状況

(1) 学校関係者評価実施日 令和6年2月21日(水)

(2) 資料(評価の参考とした資料)

ア 令和5年度学校評価計画

イ 職員、保護者、児童生徒 学校評価に係るアンケート項目一覧

ウ 〃 結果一覧

エ 令和5年度学校評価結果

(3) 評価者氏名 学校評議員

〃

〃

P T A会長

2 評価

(1) 学校運営について

①目標の妥当性及び達成状況

各目標等については特に問題点はなく概ね妥当であると評価をいただいた。また、達成している項目について、来年度以降の数値目標の設定値について、助言をいただいた。

②学校の取組状況の適切さ及び自己評価結果の妥当性

各評価項目に沿った形で実施した職員、保護者、児童生徒のアンケート結果を提示し、年間の実績や成果と比較しながら自己評価に至った経緯を説明し、妥当性についても理解をいただいた。

またアンケート結果と学校評価結果の関連について質問があり、アンケート結果は学校評価を補完するものであり、母数が少ないことや経年比較がしにくいなど、すべてが関連付けられているものではないと説明し、理解をいただいた。

③改善方策の適切さ

職員、保護者、児童生徒の第1回アンケート結果を学校評価委員会で検討し、後期に改善できる案件は、対応したことを説明し、理解をいただいた。また、管理職で学校の教育課題を把握・共有し、具体的な手立て、方策をとりながら学校運営を実践していく取組を説明し、理解をいただいた。

(2) 教育活動について

①目標の妥当性及び達成状況

各目標等については特に問題点はなく概ね妥当であると評価をいただいた。また、具体的な数値目標により達成状況が具体的でわかりやすいとの評価をいただいた。

②学校の取組状況の適切さ及び自己評価結果の妥当性

各評価項目に沿った形で実施した職員、保護者、児童生徒のアンケート結果を提示し、年間の

実績や成果と比較しながら自己評価に至った経緯を説明し、妥当性についても理解をいただいた。

また一部項目において、職員アンケート結果と生徒アンケート結果の評価のずれがあることについて、今後の検証とずれの解消に向けての取組を必要とする意見をいただいた。

③改善方策の適切さ

職員、保護者、児童生徒の第1回アンケート結果を学校評価委員会で検討し、後期に改善できる案件は、対応したことを説明し、理解をいただいた。また、学部会や校務分掌部会を通して職員間の共通理解を深化させ、教育活動を実践していく取組を説明し、理解をいただいた。

3 その他学校に対する意見や提言

今後のろう学校や聴覚障害教育の発展のために、以下のような助言や提言をいただいた。

- ・文化祭を参観させていただきました。子どもたちの元気なパフォーマンスや作品展示でも繊細で技術・技能の高さを感じました。日頃の先生方の指導に感服いたします。
- ・心の教育に関して、主観的な面もあり、職員と生徒のアンケート結果にずれが生じることは致し方ない部分でもありますが、良好な信頼関係を築きながら学校生活を送れることが大切であると感じます。
- ・学力向上に関して、生徒自身の成長はもちろんであるが、健聴児との比較を行うことによって、現在の状況や達成度など新たな視点で評価できる部分もあると感じます。
- ・先生方が高い専門性を発揮し、子どもたち一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細かい指導を実践されている様子が伝わりました。今後も県内唯一の聴覚障害専門の学校として、センター的機能を十分に発揮しながら、地域の学校を支援していただければと感じます。